さがみはら産業創造センター 編集・発行

# SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 ― 地域版 ―

発行 No. 52

発行日 ： 平成29年11月15日(水)
(2017年)

地域企業紹介 その 52

## 株式会社橋本熱処理

## 鋼の特性を最大限に引き出す「熱処理のプロ」集団

オリジナル真空炉を駆使した金属熱処理加工を主業とする株式会社橋本熱処理の荻野秀隆社長を相模原市中央区南橋本の本社工場に訪ねました。

同社は1977年3月に荻野秀隆社長の実父である荻野久一氏(現会長)によって創業され、40年余りに亘る業歴を有する地元企業である。1982年の真空炉1号機導入を皮切りに1987年には竪型の真空炉2号機を導入、1991年には素材調質・浸炭・ソルトバスなどの熱処理装置を廃止し、全て真空炉での操業に転換を図った。その後も油冷装置付真空炉、加圧冷却装置付真空炉を導入するなど積極的な設備投資を行ってきた経緯がある。これらの設備投資は多額の資金を要することになるが、同社における品質への強い「こだわり」がオリジナル真空炉の設置などをはじめ積極的な設備投資に繋がっているのだろう。

中間処理(特殊工程)である熱処理は鋼やステンレスなどの金属材料に加熱と冷却を加えて形を変えることなく性質を向上させる重要な加工である。また変化させる性質については、強さ・硬さ・粘り・耐衝撃性・耐食性・被削性・冷間加工性など多岐に亘る。さらに処理方法については「焼入れ」「焼戻し」「焼なまし」「焼ならし」などがあり、硬くしたり、軟らかくしたり、錆びにくくしたり、表面を均一化したり、様々な目的のために行われる極めて重要かつ高度な技術が要求される。同社が手掛ける熱処理加工は、ロール製品や電子部品から自動車・食品・化粧品関連など幅広い。これら多くのニーズに対応するには様々な金属素材の性質を熟知していることは勿論のこと、高い技術力が必要となる。またメートルを超える長尺物の加工は非常に曲がりやすく困難を極める。そんな中、同社では1000㎜を超える長尺物において竪型真空炉と精度を高める技術者のノウハウで、反りや曲がりを0.1㎜単位の極限まで抑えた熱処理加工を実現している。まさに、これが同社の強みの一つとなっている。

ものづくりの町で知られる大田区生まれの荻野社長は、小学生の頃に横浜市へ移られた。趣味は体を動かすことで、以前八王子市に住んでいた時に入ったソフトボールクラブに今も所属されている。ソフトボールを通じて様々な仕事に就いている仲間とプレーしたり、会話をしたりすることで健康維持やリフレッシュに繋がっているとのこと。

(2面につづく)

株式会社橋本熱処理
代表取締役　荻野 秀隆（おぎの ひでたか）
所在地：相模原市中央区南橋本4-10-8
従業員数：13名
資本金：1500万円
売上高：2.0億円
事業内容：一般熱処理、真空焼入、真空焼鈍、高周波、タフトライド
URL: http://www.hashinetu.co.jp/

（表面からつづく）

そんな荻野社長は「刀」（日本刀）が大好きだそうだ。いわゆる日本刀の製造は金属加工・ものづくりの原点なのだと言う。砂鉄を原料として伝統的な製鉄方法「たたら吹き」で精錬、炭素の少ない「軟らかい鋼」を背に「硬い鋼」と組み合わせることで切れ味が鋭いのに折れにくいものにする。次に槌で打って鋼を圧着し、形を整え鍛造効果で硬度が増す。そして水焼入れを施し、焼入れ速度を調整しながら刃先を硬く、刀身をしなやかにさせるのだが、この工程が熱処理にあたり、最後に研磨（研ぐ）し仕上げていく。こうした製造工程で鍛え上げられた日本刀は超鉄鋼に匹敵する極めて小さい針状の結晶が絡み合い強度を高める微細な組織を形成するのだそうだ。荻野社長の「刀」の話は尽きない。

さて、荻野社長が代表取締役に就任したのは2002年。社長就任後も「徹底した品質管理」を唱える荻野社長は、生きている鉄に「寿命を与える」ことが私たちの仕事であり、熱処理職人は鉄の専門医のような役目があるのだと熱く語る。現在同社には営業担当者がいないそうだが、優秀な専門医は口コミで患者さんが来てくれる。きっと「㈱橋本熱処理」はそのような存在の会社なのだろう。その結果、各地の同業者や取引先企業から金属加工に関する相談が後を絶たず、講習会・セミナーなどの開催を依頼されることも多く信頼も厚い。

このように徹底した品質管理を実現していくために社員も各種技能士資格を取得し知識や技術ノウハウを磨いている。また正確な測定ができるように検査機器の日常点検及び定期点検を実施すると共に専門外注業者による点検・校正を充実させＩＳＯ9001（品質管理）認証を取得中とのこと。そんな同社では「橋熱品質」をスローガンに掲げ、社員全員が徹底した管理体制のもと作業を行っている。

今後、燃料費（電力）の高騰による収益性への影響や量産品拡充などの課題を克服していくことが大事だと荻野社長は気を引き締める。これからも鋼の特性を最大限に引き出す「熱処理のプロ」集団として、品質管理向上に対する同社のチャレンジに終わりはないようだ。

入居企業紹介
56

# 「人生これから。設計技術で描く”夢”」

## 三立工業株式会社　相模原事務所

機械設備などの試作開発及び設計施工の一式を専門に行っている三立工業株式会社の小形　清（おがたきよし）社長にお話しを伺いました。小形社長は、鉄鋼メーカーで働きながら大学で学び、その後、技術を身に付けたいと機械設計事務所へ転職、先輩に追いつこうと「３年間で９年分働く」を目標に技術を習得された大変な努力家です。自らの機械設計事務所を設立され、サーボモータやセンサー機器がない時代に、自動車ドアの自動取り付け装置などを開発、また、地域分散していた設計業界を全国組織へ統一し、一般社団法人日本機械設計工業会設立に携わるなど機械設計業界の発展に貢献されました。

現在、小形社長はテントシートなど複合繊維製品（塩ビ素材と繊維）を分離・再生する装置の開発を行っています。テントシートは、ポリエステル繊維に塩ビをコーティング又はディッピングした複合繊維製品のため、リサイクルすることが難しいという課題を抱えています。使用後はほとんど全て焼却や埋め立て等で廃棄されて環境問題を抱えているのが現状で、テント業界では東京オリンピックを控え、廃材の再生は業界喫緊の課題となっています。

これまでに培ってきた機械設計の経験から複合繊維の分離再生装置の開発に成功した小形社長は、現在はその製品化に向けて試作機のテストなどを進めています。この技術は、使用済みのテントシートを素材別に分離することで塩ビ床材などへの再生・リサイクルを可能にする画期的なもので、社会的に環境配慮や資源の有効活用が求められる中、大きな可能性を秘めた技術と言えます。「塩化ビニール環境対策協議会」の機関紙「PVCnews」（２０１６年９月号No.９８）の特集では、世界初の試みとして紹介されています。

「私の人生はこれから」と語る小形社長。装置の販売だけでなく、複合繊維素材の再生・リサイクルサービスの開始に向けても着々と準備を進めています。世界初の技術と小形社長の熱い想いが、近い将来、塩ビ再生の世界を変えることを願ってやみません。

三立工業株式会社
SIC-1 304 号室
TEL：042-703-6106
URL: www.sanlitsu.co.jp

# What is “Incubation”?

前号では、「SIC経営塾」について、担当しているインキュベーションマネージャー（IM）とともにご紹介しました。今回は「ＳＩＣ職場リーダー養成塾」と担当IMをご紹介します。

## SIC職場リーダー養成塾

人材育成事業におけるSIC塾シリーズの一つとして、2007年から中小・中堅企業のミドル層である職場リーダー及びリーダー候補を対象に「SIC職場リーダー養成塾」を開講しています。

本塾は、職場リーダーに求められる『部下やメンバーの特性を知り、潜在的に持つ力を最大限に引き出し、周囲を巻き込んで取り組み、組織で成果を出す力』を養成することを目的に、約6ヶ月間の研修期間を設けています。

塾生の皆様は、コミュニケーション技法を習得しながら、課題の設定や数値目標の設定、対策の立案や行動計画の策定といった課題解決のプロセスを学びます。研修では、「巻き込み力」を磨くコーチングトレーニングに取り組み、チームディスカッションによる「他流試合」で切磋琢磨しながら課題解決シートを完成させ、「社内実践」で塾生各自が抱える職場の課題解決に挑戦します。最後に、集大成として塾生、講師、上司、経営者が見守る中、約2か月間にわたり社内で取り組んだコミュニケーション及び課題解決の実践結果やリーダーシップ力の変化、今後の行動計画を発表します。

これまで、製造業や卸売業、運輸業、サービス業など業種を問わず70社近くの地域企業の方々に受講していただき、昨年までに159名の塾生が修了されました。今年も16名の塾生が切磋琢磨しながら成果発表会に向けて取り組まれています。

職場リーダーとしてのスキルアップをご検討の方々の受講をお待ちしております。

### 担当ＩＭから一言

2012年からSIC職場リーダー養成塾を担当するようになり、現在は、企画運営だけでなく講師の一人として、塾生の皆さんと日々向き合っています。

私自身が心がけていることは、『仲間づくり』の場の提供です。塾生の皆さんは、業種が異なるだけでなく社内での立場や年齢も様々です。当塾では、立場や年齢の違いに臆せず、相手の意見や考えを否定せずに「最も重要な問題点は何なのか？」「本当にそれが原因なのか？」など積極的に議論できる環境づくりを心がけています。社外の職場リーダーとの議論を通じて交流する機会を持つことで、一人で抱えていた悩みを打ち明けたり共感したりできる新たな『仲間づくり』に繋がります。そして、お互いに啓発し合い課題解決に挑戦していく中で、職場リーダーとしてのマインド向上や「ものの見方や考え方」の幅が広がっていくと考えております。

お陰様で、毎年受講してくださる地域の企業様もいらっしゃいます。今後もより期待していただけるSIC職場リーダー養成塾であり続けるように努めてまいります。

**事業創造部　五島 康人**
（ごしま やすと）

主に入居企業や地域企業の個別課題解決支援に従事。

**担当業務**

- 入居企業支援（経営相談・顧問業務等）
- 地域企業支援（経営相談・顧問業務等）
- SIC台湾ビジネスサポート（海外展開）
- SIC職場リーダー養成塾（企画運営・講師業務）
- ビジネスマッチング
- 八千代起業家支援プログラム

## ポルコキッチン

毎週水曜日、ＳＩＣ-1・2でお弁当を販売している「ポルコキッチン」のお店に行って来ました。手作りの料理メニューが壁いっぱいに、そして、柔らかな丸い照明が一人ひとりを迎えるようにテーブルを照らしています。注文した9種類の自家製燻製の盛り合わせ、アヒージョ、唐揚げ（お弁当のよりもっと大きい！）、季節の手作り餃子、そして、まるごとカマンベールのピザは本当に丸ごとカマンベールがのっていて、切るととろけ出るチーズに皆さんもきっと大感激間違いなし！です。（荻島）

相模原市中央区千代田2-10-20
TEL：042-752-1220
http://porcokitchen.web.fc2.com/index.html

営業時間　18:00～24:00
定休日　不定休

カマンベールチーズまるごとピザ

SIC 食のさんぽ道

お店の様子

燻製盛り合わせ

## SIC 事業紹介

開催内容等、詳しくはSICホームページをご覧ください。

HYOMENKEN
# 表面研
OPEN INNOVATION

～人と科学の楽しい関係～

**さがみはら表面技術研究所**
**（略称：表面研）**

“もの”には必ず表面があります。金属と樹脂材料のような異素材間でも表面の形状を制御することで一体となり、これまでにはない新しい機能が発現します。

さがみはら表面技術研究所（略称：表面研）では、異分野間の技術や人とのつながりが、新しいアイデアやサービスを生み出す原動力になると考え、モノとモノ、ヒトとヒトとの橋渡しに取り組んでいます。

表面研は、企業や技術者の課題解決の糸口を見つけるサポートをします。事業の運営、人材育成、技術に関することなど様々な課題に対し、これまでの企業支援の経験と女性ならではのしなやかな発想、そして臨機応変な対応力で皆様の事業と研究活動をサポートします。誰もが安心して利用できる女性技術者による企業の保健室を目指しています。

## スタッフ紹介

（左：河村、中央：須藤所長、右：金澤）

**須藤 理枝子：さがみはら表面技術研究所 所長**

大手重工メーカーで環境装置のプラントの研究開発・技術営業として10年勤務、その後、質量分析装置の研究開発型大学発ベンチャーを創業、経営者を務めました。
2010年からさがみはら表面技術研究所所長として個社技術開発、産学官連携プロジェクト、技術者向け人材教育、環境技術経営などの支援を実施しています。
インターネットラジオ「スモールサン」でパーソナリティを務め、様々なものづくり系の中小企業をご紹介しています。

**金澤 知恵**

農学部卒業後、食品メーカーの品質管理部門に勤務。現在は、表面研で公的助成金や各種補助金についての情報収集、新技術の調査・レポート作成等を担当しています。

**河村 彩**

応用生物科学部卒業後、医薬部外品・化粧品メーカーの研究部門で評価・分析業務に従事。現在は、表面研でプレゼン資料やパンフレット等のツール作成を担当しています。

## 事業内容

### ●技術サポート

個社との相談を通じ、抱える技術課題の整理を行い、表面研のネットワークを活かした企画提案により具体的な技術サポートを行います。

**○コンサルティング**
中長期にわたるコンサルティング、プロジェクト単位のコンサルティング

**○スポットコンサルティング**
課題、問題、アイデアの整理及びアクションプランの提案

**○人材育成支援**
コミュニケーションスキルアップ研修（社内向け）、社員・従業員向け相談

**○技術相談**
技術・論文調査・結果報告書、評価・分析とりまとめ・報告書、分析依頼先選定・研究方案

**○経営者支援**
ヘルスケアサポート、プレゼン・イメージ戦略

### ●大学・研究機関等の紹介

研究・製品開発や不具合原因解析などの技術的課題の相談内容にあわせ研究者・技術者を紹介します。専門分野・業界を乗り越えられるよう親身にコーディネートします。

### ●公的助成・委託事業申請サポート

申請書の作成のサポート、コンソーシアムを形成する際のコーディネート、事業開始時のマネジメントおよび技術開発サポートなどを行います。自社の強み・特徴などを活かせる事業戦略や開発方向性などについてアドバイスを行います。

○申請書、採択後のフォローアップ、報告書等

### ●分析・評価サポートサービス

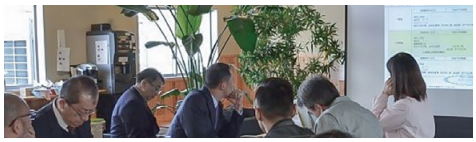
神奈川県立産業技術総合研究所（ＫＩＳＴＥＣ）はじめ各種試験研究所と連携しています。

各試験機関と製品や材料の特徴について（形態観察、化学結合状態把握、定性・組成分析など）の分析の調整から分析結果に対する丁寧でわかりやすい解析を行います。

他社製品との差別化、優位性の把握を客観的に評価した営業技術資料、新製品の開発指針をサポートします。

### ●研究開発の実績

各種学会などの研究成果発表に向けた学術的な活動をも行っています。分野を超えられるようなテーマについて探求を行います。



## 2017.11 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

| | |
|---|---|
| １１月１５日（水） | The HINT37 SICナレッジカフェ |
| １１月１７日（金） | Robot Seminar 自動化技術セミナー |
| １２月１４日（木） | 入居者交流会 |
| １２月２２日（金） | ＳＩＣ大掃除 |
| １２月２９日（金）～2018年（平成30年）１月３日（水） | ＳＩＣ年末年始休業 |
| １月３０日（火）～３１日（火） | Robot Seminar 操作教育セミナー |

## knock! knock! 入居企業を募集してます。

**SIC空室情報（平成29年11月15日 現在）※お気軽にお問い合わせください。**

| | 部　屋 | 空室数 | 賃料/月額（共益費込・消費税抜き） |
|---|---|---|---|
| SIC-1 | ○スモールオフィスＡ（23.6㎡） | 1 | 78,700円 |
| | ○スモールオフィスＢ（17.3㎡） | 4 | 64,200円 |
| SIC-2 | 空室はありません | - | - |
| SIC-3 | 空室はありません | - | - |


**【お問い合わせ先】**お気軽にお問い合わせください。
〒252-0243　神奈川県相模原市中央区上溝1880-2 SIC3-3301 さがみはら表面技術研究所
TEL：042-707-9091　FAX：042-707-9092　Mail：tech-labo@sic-sagamihara.jp


詳しくは、SICホームページをご覧ください。
http://www.sic-sagamihara.jp

## 編集後記

2008年11月に創刊しました「SICかわらばん」は、今号で10年目に突入です。今年最後のかわらばんをお届けいたしました。来る2018年（平成30年 戌年）、SICの仕事始めは1月4日（木）、次号の「SICかわらばんNo.53」は1月15日（月）の発行を予定しています。本年中のご愛読、ありがとうございました。皆さま、良いお年をお迎えください。


**（株）さがみはら産業創造センター**（SIC）
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話：042-770-9119　FAX：042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp


**ご意見・ご感想をお待ちしています。**

**ウェブサイト http://www.sic-sagamihara.jp/**


デザイン　DESCL 株式会社デスケル